

## 乳牛が食べる飼料(エサ)の中身

牛は草食動物ですが、牧場にいる乳牛は、草だけを食べているわけではありません。良質な生乳をたくさん生産するために、牧場では栄養バランスのとれた飼料を与えています。今回は、乳牛がどんなものを食べているのかをご紹介します。



## ◆牛にとって主食となる【粗飼料】

青草や乾草(干し草)のほかに、トウモロコシ(茎や葉を含む)や青草を乳酸発酵させたサイレージなど、繊維質の多いエサを【粗飼料】と言います。【濃厚飼料】と比べてエネルギー量やタンパク質が少ないものの、繊維質が多く、草食動物である牛にとって消化機能を安定させるのに必要で、主食となる食物です。

なお、サイレージは保存がきくので、人間の食べ物でいえば、牛の食欲を増進させる漬物(食塩は入っていませんが)のようなものです。



青草



乾草



サイレージ

## ◆栄養価の高いおかず【濃厚飼料】

大麦やトウモロコシといった穀類、大豆などの豆類、ふすま(小麦から小麦粉を製造する際に出る皮などの副産物)、米ぬか、大豆油カスなど、穀物やカス類を使った飼料が【濃厚飼料】です。

でんぷんやたんぱく質など、豊富な栄養を含んでおり、乳牛にとってはおかずのようなものです。一般的には、これらの濃厚飼料は何種類か混ぜ合わせ、栄養バランスのとれた配合飼料として使われています。



TMR

## 多彩な具材が入った混ぜご飯

TMR (Total Mixed Rations) は、粗飼料や濃厚飼料、ミネラルやビタミンなど、乳牛が必要とする食物や栄養素を混ぜ合わせた飼料です。混合飼料ともいわれており、人間の食べ物に例えれば、多彩な具材が入った混ぜご飯のようなものです。

米

稲を丸ごと乳酸発酵させた「稲WCS (Whole Crop silage: 稲発酵粗飼料)」や、飼料用品種の稲から収穫したコメ(濃厚飼料)の利用も増えており、休耕田の活用や食料自給率の向上に役立つと期待されています。